

関係者評価議事録

日時： 令和6年7月23日（火）9：30～

会場： 五ノ神幼稚園 3F会議室

参加者 参加者は 近隣の住民及び評議員

「令和5年度の幼稚園関係者評価」について、以下のような評価をいただきました。

【総評】項目立てした7項目について、しっかり取り組んでいた

1 音楽：郷土芸能である日本太鼓やメロディオン、歌、リトミックを通じての音楽教育を行っているが、日々の積み重ねでどんどん上達している。

音楽講師やリトミック講師による指導により、教師の質の向上が見られ、園児への指導に有効に還元している。

2 特別支援：クラスや学年を超えて子どもたち一人ひとりをよく見ている。

心理士も常勤しているので、先生たちの相談に乗ったり、親御さんの面談もしている。異学年との交流やインクルーシブ教育も行っているが、子どもたちへの関わりにとって大変いい効果をもたらしている。

3 飼育物を飼う：生き物との触れ合いが身近にできることで、思いやりの気持ちが育まれている。烏骨鶏やチャボが餌を食べる様子を観察し、自分たちが持ってきた野菜を鶏が食べやすいように細かく切るなどの工夫がみられる。

4 月と星を見る会：子どもたちが天体に興味を持つよいきっかけになっている。

5 ヨガ：ホール開放（0～1歳児向け）にて。お母さんが行っている間、子どもたちは近くで遊んでいる。お母さんはリラックス。

キッズヨガを各クラスで指導してもらった後、保育でも体幹を意識する機会になった。乳幼児期をコロナ禍の中で過ごしてきた園児たちにとって、姿勢改善や体幹を育てる働きかけをしていくことはかなり有効であると感じた。

引き続き姿勢改善に取り組んでいる。

6 食育：季節に合わせた野菜や果物を畑や園庭で収穫して食べたり、給食の食材の皮むきなど手伝うことで、苦手なものも食べられるようになるなど、食育にも力を入れている。

7 英語：園児たちは毎週英語の時間を経験しているが、同じフレーズを繰り返し身につけ、楽しい歌やゲームを通して英語のリズムに親しみ、よく聞く耳を育てるのに役立っている。園児の発音がとてもきれいだと言驚く保護者もいる。アメリカから来た人に会うと率先して話しかける様子が見られる。

保護者の参観も行い、英語に自然と触れられている様子を伝えるのに良い機会になった。